

編集後記

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。ここに、京大土木会会報No.55をお届けいたします。本号の編集にあたり、会員の皆様からご寄稿をいただき発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援・ご協力に、幹事一同厚く御礼申し上げます。

工学部地球工学科および地球系専攻では、総会で大津宏康新会長よりお話がございましたように、他大学・他専攻に先駆けて「大学の国際化」への取り組みを積極的に進めてまいりました。例えば、英語のみで学部教育を行う「工学部地球工学科国際コース」は、志願者が増加傾向にあり着実に成長しており、京土会からも経済的援助が必要な留学生に対する補助を継続的に行っております。また若手・学生会員の研修助成として、毎年10名程度の学生に対し、海外研修・国際学会発表の旅費等を支援しています。国際コースへの奨学金寄付と合わせまして、会員の皆様方には改めてお礼を申し上げます。

一方、昨年度に取り組んでまいりました名簿のWeb化とそれに伴うデータベースが稼働し始めております。このシステムが会員の皆様のメリットになればと考えるところでございます。種々のご不便をおかけすることもあろうかと存じますが、ご理解・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

京都大学全体では、正規の在学生・卒業生・修了生、役員及び教職員（退職者を含む）を対象として申請により利用可能な無料のメール転送サービスである「生涯メールサービス」が運用されています。また、同窓生データベースの構築に向けた動きがございます。京土会としての関わり方は会員の皆様のご意見も伺いながら今後の検討を要しますが、業種を超えた同窓生の交流に結び付けばと考えております。

今後とも、引き続き会員の皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成29年度 幹事

服部 篤史、山田 忠史、高岡 昌輝